

11月18日開催

国宝・光明寺二王門と鐘撞堂の見学会

かねつき

平成28年から行われていた国宝・光明寺二王門の修復がまもなく完了。11月18日には奥上林地域振興協議会（熊内久志会長）による「国宝光明寺二王門・鐘撞堂見学会」と「鐘撞堂」修復完成報告会が開催されます。いずれも申込不要、参加は無料です。

光明寺の歴史・文化を解説

見学会では、京都府立大学地域貢献型特別研究で、本年度光明寺の文化財の調査を行っている京都府立大学生も参加。奥上林地域振興協議会や市職員とともに、二王門の修復や同時期に改築された梵鐘と鐘撞堂、光明寺の歴史や文化について、それぞれ約15分解説します。

また、光明寺本堂では、ビデオ放映で二王門の榎葺屋根の葺き替えや塗装の塗り替え工事の概要を説明。あやべ温泉の玄関前では、水源の里・老富の栃餅ぜんざいが味わえます。

なお、同日午前中には「鐘撞堂」修復完成報告会も開催。地域住民により新調された鐘が初めて撞かれた後、上林小学校児童の上林若鮎太鼓などが演奏されます。



▲老朽化が進み倒壊が危ぶまれていた改修前の鐘撞堂と風雪でひび割れ、20年以上使用されていなかった鐘



▶屋根の全面葺き替えて当時の重厚な屋根が蘇る。再塗装された、建立当時の美しいベンガラ塗りの色彩は現場で確認を（写真は修復前）

熊内会長は「君尾山は地元住民の心のよりどころ。今回の修復で誇りであった君尾山への思いを呼び起こし、君尾山の歴史・文化を世に広め、地域の活性化につなげていきたい」と述べています。

二王門修復へのご協力を

国宝光明寺二王門プロジェクト実行委員会（川端勇夫会長）は引き続き、修復費の寄

付を募っています。同委員会が市役所や観光案内所等で配布している専用払込用紙か、市社会教育課と市資料館の窓口で受け付け中です。



金額に応じてもらえる手ぬぐいとマグネット、記念盾

二王門・鐘撞堂見学会

日時／11月18日(日)午後1時～4時。集合場所／あやべ温泉駐車場（睦寄町）。無料シャトルバス／あやべ温泉～光明寺の送迎バスを運行。車の方は、あやべ温泉に駐車してください。運行時間／始発＝午後0時45分～、15分ごとに運行。最終便＝午後3時45分。問い合わせ／同協議会(55)0001

「市民のための学術講演会」から 高レベルな綾部の消化器外科

市立病院は毎年「市民のための学術講演会」を開催。本年度も同病院の医師や看護師5人が、専門分野について分かりやすく講演しました。今回はその中から、消化器外科・岡島航医師の講演内容を紹介します。



講演会では参加者との活発な質疑応答も行われた。

世界レベルの医療を提供

消化器外科は、胃がんや大腸がんをはじめ、脱腸、盲腸などを治療します。日本の消化器外科の技術は、世界トップレベル。胃がんで手術だけの治療をした場合、術後2年の生存率は約70%で、アメリカの約40%と比較して、とても高い確率です。同病院で、世界レベルの医療が受けられると言っても過言ではありません。

全員が消化器外科の専門医

同科の常勤医師は、日本消化器外科学会の中で3割しかない「専門医」の資格を全

員が保有。積極的な学会への参加や府立医科大学との交流により、最先端の知識や技術を習得しています。

また同病院は、臓器を切ると同時に自動で縫い合わせ、患者負担を軽減する最新機器を、関西でいち早く導入。平成29年度には、手術室のモニターや天井カメラ等を更新するなど、設備を整えています。

住み慣れた地域で医療を

「都会の大きな病院に行けば良い薬がある」というのは、間違ったイメージ」と話す岡島医師。国が定めた指針に基づき、認可された薬剤は

どの病院でも使用できます。同病院では、最適な治療のため薬剤部と連携。患者の症状や希望に応じ、さまざまな薬を選べるようにしています。

定期的な通院や介護する家族の負担を軽減するには、大病院に行かなくても、近くの病院で安心して受診できることが必要。市民が住み慣れた地域で最適な医療が受けられるよう、さらなる知識と技術の向上に努めています。



呼吸器外科

井伊 庸弘 医師

当病院の呼吸器外科開設時に勤務した経験があり、今回が2度目の赴任です。肺がんや転移性肺腫瘍、気胸などを対象とし、通常は胸腔鏡を使った体に負担の少ない手術を行います。綾部市をはじめ、近隣地域の医療に貢献したいと思いますので、よろしくお願いします。



整形外科

榎尾 智 医師

整形外科の中でも脊椎外科が専門です。できるだけ患者さんへの負担が少ない手術を心掛けています。当病院で、安全・安心の最先端治療が提供できるように努めます。脊椎・脊髄疾患でお困りのことがありましたら、ご相談ください。



新任医師

10月1日、市立病院に2人の医師が赴任しました。

早期発見で治療につなげて

消化器外科 岡島 航 医師

初診時にがんが進行している割合は、都市部より農村部の方が高いと言われていています。定期的に検診を受け、不調を感じたらすぐに病院を受診するなど、早期発見・早期治療が大切です。

私たちは、日々進歩する医学の最新情報に基づき、今一番適切と考えられる外科治療を行っています。安心して受診し、分からないことは何でもお尋ねください。

